

自治基本条例に係る高校生ワークショップ (小諸高校)

1 高校生ワークショップの概要

- (1) 日時 1日目 平成25年10月 3日16時～17時
2日目 平成25年10月10日16時～17時
- (2) 場所 小諸高校会議室
- (3) 内容 1日目 自治基本条例の概要の説明
2日目に実施するワークショップ等について
2日目 市民協働の体験(ワークショップ)
・臨時図書館が移転したらどう使う?(高齢者福祉施設を市の仮定の計画として提案)
模擬住民投票
・市が提案した老人福祉施設計画の賛否について模擬投票
住民投票について意見交換
- (4) 参加者 高校生 生徒会役員の皆さん10名
討議員 大林討議員、上滝討議員、木島討議員、小山討議員、別府討議員
事務局 清水企画課長、中島まちづくり推進係長、渡辺まちづくり推進係主任、佐藤まちづくり推進係主事、大池子ども育成課長(ファシリテーター)

2 高校生から出された意見

- (1) 市民協働体験での意見(ワークショップ:臨時図書館が移転したらどう使う?)
- 1グループ (仮称)総合ふれあい広場にすれば良いと考えた。内容は、児童館と似たような施設で、児童だけでなく老若男女誰でも利用できるようなところ。施設の外には、すべり台、砂場、バスケットゴールがあったり、ゲートボールができたり、施設の中では、絵本、人生ゲーム、積み木、休憩場所、ピアノがあったり、卓球ができたりといろいろなことができる場所が良いと考えた。
- 2グループ いろいろな世代の人たちが集まって交流ができるような場所が良い。ふだんは開放して自由に出入りできて、ゆっくり電車の時間を待たることができるようなところ。時にはイベントなども開催して、いろいろな

人が集まるようにすれば良いと思う。そうすればいろいろな人が来るので、商店街も来る人に合わせて新しい店を作ったりと、まちも活性化されるので、総合的な施設が良いと考えた。

(2) 住民投票についての意見

1グループ 住民投票制度をはじめて知って、良い経験ができた。このような経験が毎年できるようになれば良い。住民投票があったら行きたい。若い世代は、あまり住んでいるところに関心がない。自分は小諸には住んでいないが、自分が住んでいるところのことも知りたいと思った。こういう取組を続けてほしい。住民投票というと大人が行うイメージでいたが、こういった制度があることをもっと若者に広めてほしい。

2グループ 今回はじめてこのような制度があることを知った。もっと市民に対してPR すべきだし、学校に対してももっとこういう機会を設けるべきだと思う。こういった市民の意見を取り入れたまちづくりが、今後必要になってくると思う。私たちも実際のワークショップなどに参加していきたいので、開催される場合は学校にも知らせてほしい。ただ大人と一緒にだと、意見が言いにくい場合もあるかもしれない。